



建築設備技術遺産

認定第 14 号 TOTO ミュージアム(旧:TOTO 歴史資料館)所蔵の各種湯水混合水栓

管理者:TOTO ミュージアム(旧:TOTO 歴史資料館)

所有者:TOTO ミュージアム(旧:TOTO 歴史資料館)

日本では、昭和初期に浴室でシャワーが使用されるようになると、水と湯を混合して吐出する湯水混合水栓が必要になってきた。当初は湯・水別々のハンドルでそれぞれの流量を調節する2ハンドル式であり、水、湯の流量割合により流量と温度が微妙に変化し調節操作が面倒であった。そのため、操作性を改良した2ハンドル式が登場し、その後ミキシング式、そしてシングルレバー式、サーモスタット式へとさらに操作性や機能性を改良した器具が登場してきた。操作性のほか給湯機とのマッチングを考え内部抵抗を小さくするなどの技術的改良も加えられ混合水栓の発展は住宅での給湯普及にも貢献している。

住宅の湯使用個所は、浴室の水栓・シャワーのほか、洗面所、厨房流しなどがあり、これら設置個所や使い方に合わせた操作性や機能性が必要となるが、メカニカルな技術部分は共通する点もあり相互の発展につながっている。今回申請があったTOTOミュージアム所蔵の各種混合水栓は、初期の2ハンドル式湯・水混合栓からサーモスタット式まで1950年代から1980年代までの洗面器用、シャワー用、バス用、流し用の各種混合水栓で、各用途においての代表的な器具であるとともにその後の高機能混合栓のもとになるなど混合水栓の技術的発展に貢献するものである。

以下に今回認定した各種混合水栓とそれらの特徴・評価点を示す。

〔シャワー用〕

- ◆ミキシングバルブ TM-10:1950年代のわが国初の1レバーハンドル吐出温度切り替え可能水栓。のちの高機能型混合栓の先駆け的製品。
- ◆2ハンドルシャワー金具 TM115CG:1980年代の代表的な2ハンドルシャワー金具、湯量、湯温を調節した状態で一時的に止水出来るハンドルを取り付けたもの。
- ◆ミキシングシャワー金具:TM125CG:温温度を調節するミキシングバルブに一時止水バルブを加え操作性を向上させた。住宅での給湯普及に貢献した1980年代の代表的なシャワー金具
- ◆サーモスタットシャワー金具:TM145CGR、1980年代の代表的なサーモスタット式のシャワー金具

〔洗面器用〕

- ◆シングルレバー混合栓 TF1:1960年代、日本初のシングルレバー式混合水栓、洗面器用であり、この後、キッチン用が商品化され普及していった。
- ◆2ハンドル混合栓 TL306MAG:当初の金属製ハンドルから意匠性、断熱性向上のため樹脂製のものを採用した1980年代の代表的な混合水栓。

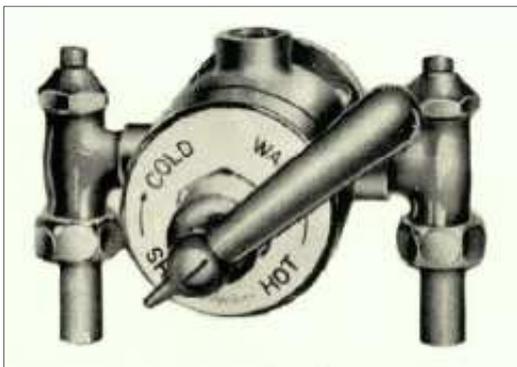
〔バス用〕

- ◆定量止水付サーモスタットバス水栓 TM545AR:1980年代、代表的な定量止水付サーモスタットバス水栓

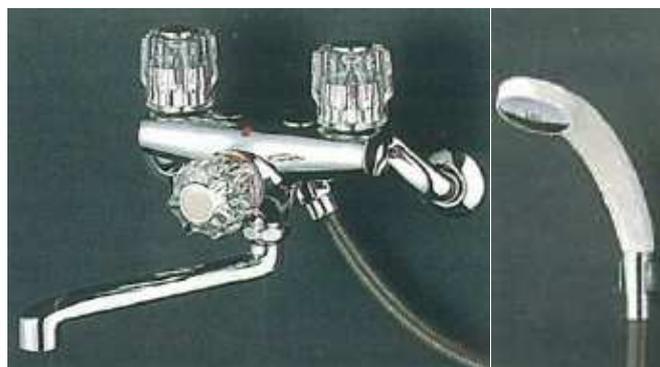
〔キッチン流し用〕

- ◆2ハンドル混合栓 T133A:1960年代、初期の代表的なキッチン用混合水栓
- ◆シングルレバー混合栓 TF25AH:1980年代、代表的なキッチン用シングルレバー式混合水栓

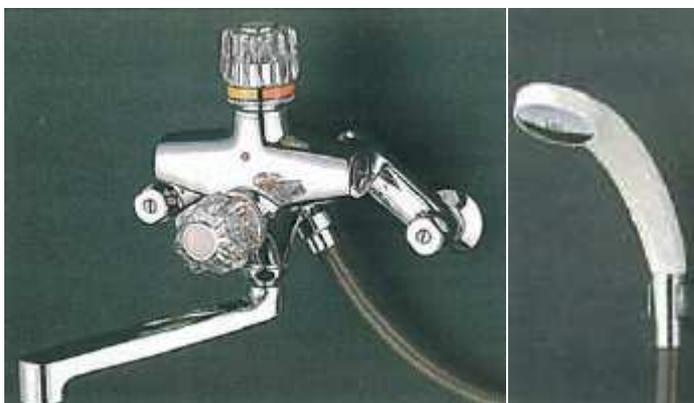
以上のように、今回申請があった TOTO ミュージアム所蔵の各種混合水栓は、それぞれ混合水栓の技術的發展に貢献するものであるが、日本における混合水栓の変遷、技術・機能の發展などを示す一連の資料として建築設備技術遺産とするに値するものと評価できる。



ミキシングバルブ TM-10



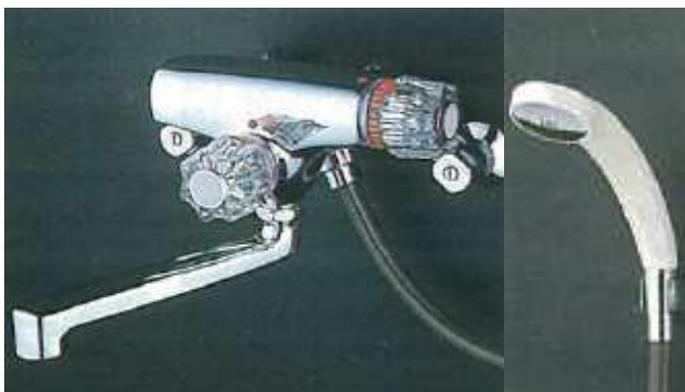
2ハンドルシャワー金具 TM115CG



ミキシングシャワー金具 : TM125CG



シングルレバー混合栓 TF1



サーモスタットシャワー金具 : TM145CGR



2ハンドル混合栓 TL306MAG



2ハンドル混合栓 T133A